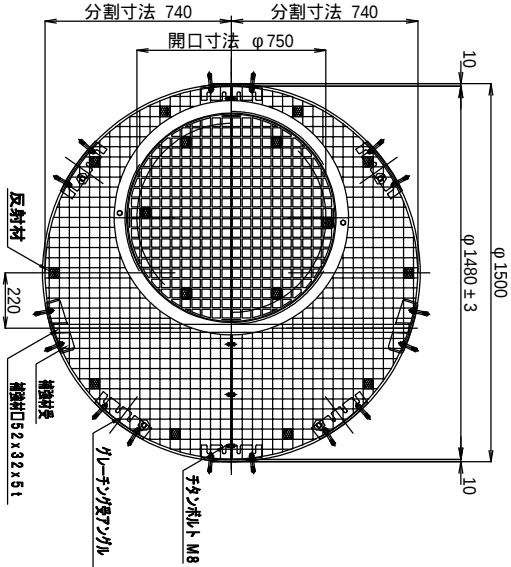


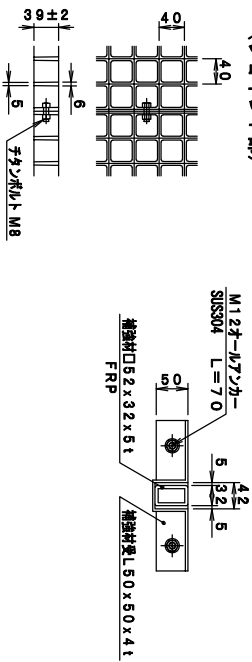
中間スラブ詳細図 S = 1 / 3 0

(単位：mm)



FRPグレーチング詳細図 S=1:6
(ジョイント部)

補強材受詳細図 S=1:6



- 1 材料はステンレス等の耐食性を持つものを使用すること。
- 2 人孔内で中間スラブが外れないように対策を取ること。

【中間スラブの設置基準】

- 1．中間スラブはマンホール鉄蓋よりインバートまでの深さが、5.0m以上の場合に設ける。
内部副管を設けるときは「内部副管用中間スラブ標準図」6-30-1を参照すること。

- 2．鉄蓋～中間スラブ～インバートの各間隔は5mを超えてはいけなない、これを超える場合さらに中間スラブを設けるものとする。

- 3．中間スラブを設ける場合、仕切られた上下の室内は維持管理の作業性を考慮し、高さ方向に最低2.0mの空間を設けるものとする。

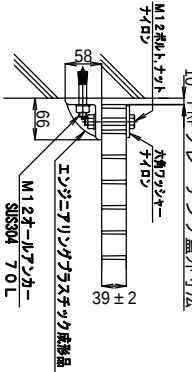
- 4．中間スラブを設ける場合、マンホール径は原則1.5m以上とし、昇降口の径は75cmとする。
また、中間スラブ、昇降口の材質等は、原則としてFRP製で格子状とし、耐荷重3.5kN/m²以上とする。

- 5．中間スラブの昇降口の設置は鉄蓋と同一方向とする。

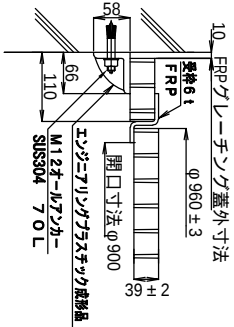
- 6．グレーチング蓋は、反射板付のものとする。

- 7．この基準により難しい場合は、東西下水管理センターと協議すること

本体固定部 詳細図 S=1:6



端部断面詳細図 S=1:6
(φ900開口部)



エンジンリングプラスチック成型品 S=1:6

